

<資産成長型・為替ヘッジあり>

第3期末 (2022年6月20日)

基準価額	9,182円
純資産総額	982百万円
騰落率	△22.9%
分配金	0円

<資産成長型・為替ヘッジなし>

第3期末 (2022年6月20日)

基準価額	11,126円
純資産総額	12億円
騰落率	△11.1%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ／シュローダー・ グローバルCBファンド

(資産成長型・為替ヘッジあり)

(資産成長型・為替ヘッジなし)

【愛称】 攻防兼備

追加型投信／内外／その他資産 (転換社債)

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2021年6月22日～2022年6月20日

第3期 (決算日 2022年6月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり) / (資産成長型・為替ヘッジなし)」は、このたび第3期の決算を行いました。

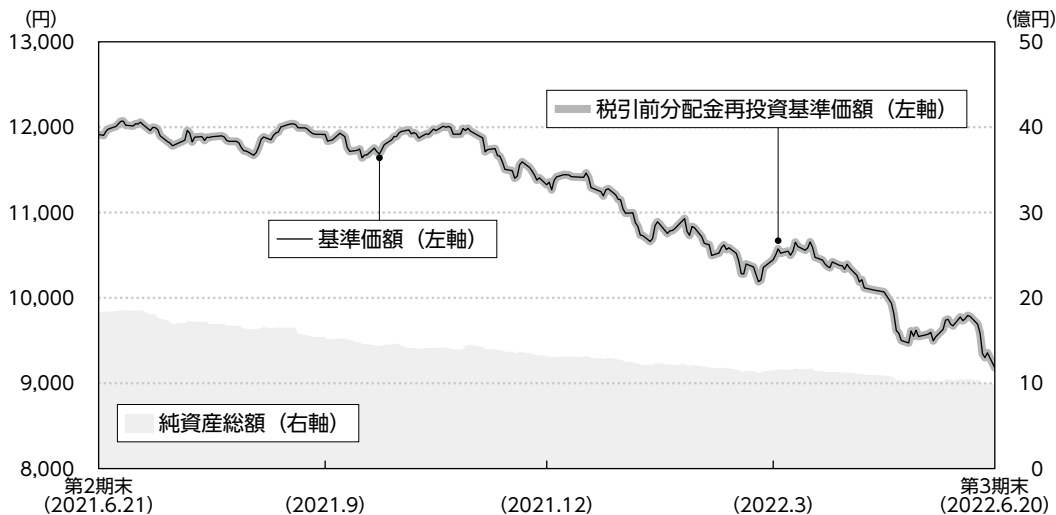
各ファンドは、「シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCB (転換社債) を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2021年6月22日～2022年6月20日

## 基準価額等の推移



第3期首	11,914円	既払分配金	0円
第3期末	9,182円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△22.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・2022年3月上旬から4月中旬にかけて、ロシア・ウクライナ情勢とグローバル景気に対する過度な懸念の後退や米利上げ開始に伴うイベント通過を好感してCB市場が上昇したこと

### <下落要因>

- ・2021年11月下旬から12月上旬にかけて、米金融政策への懸念や新型コロナウイルスの新たな変異型(オミクロン型)の感染拡大による投資家のリスク回避姿勢などによりCB市場が下落基調で推移したこと
- ・年明け以降、ロシア・ウクライナ情勢に対する懸念やインフレによる悪影響が嫌気されて世界株式市場が下落する中、CB市場も下押し圧力が強まったこと
- ・4月下旬から5月にかけて、情報技術やヘルスケアセクターを中心にCB市場が下落基調で推移したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	124円	1.113%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,147円です。
(投信会社)	( 35)	(0.318)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 86)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.009)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	125	1.123	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

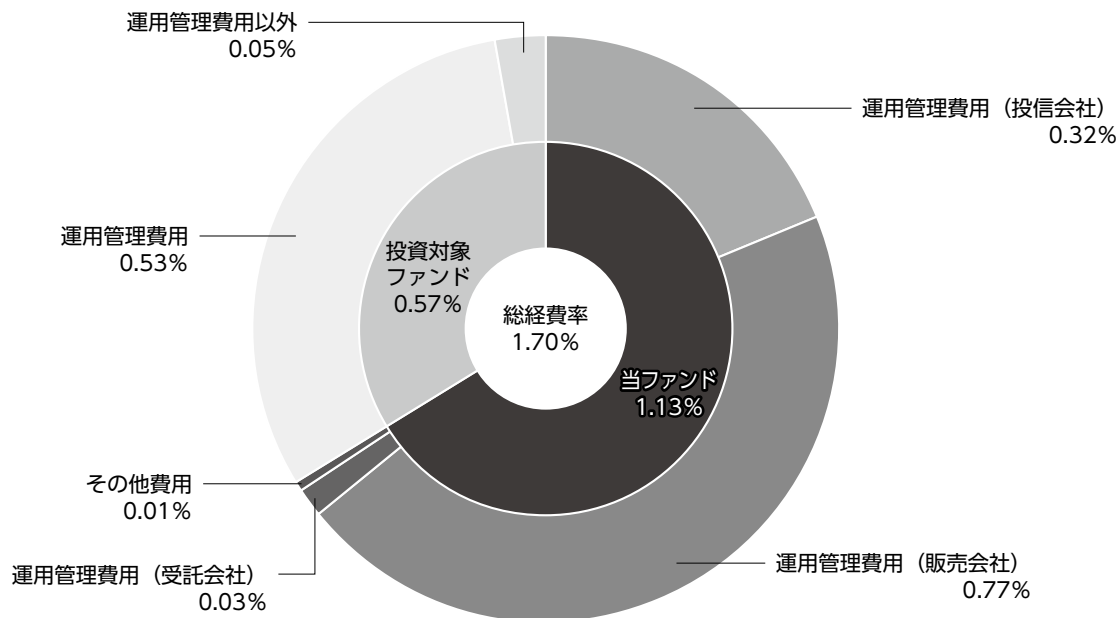
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■ 総経費率

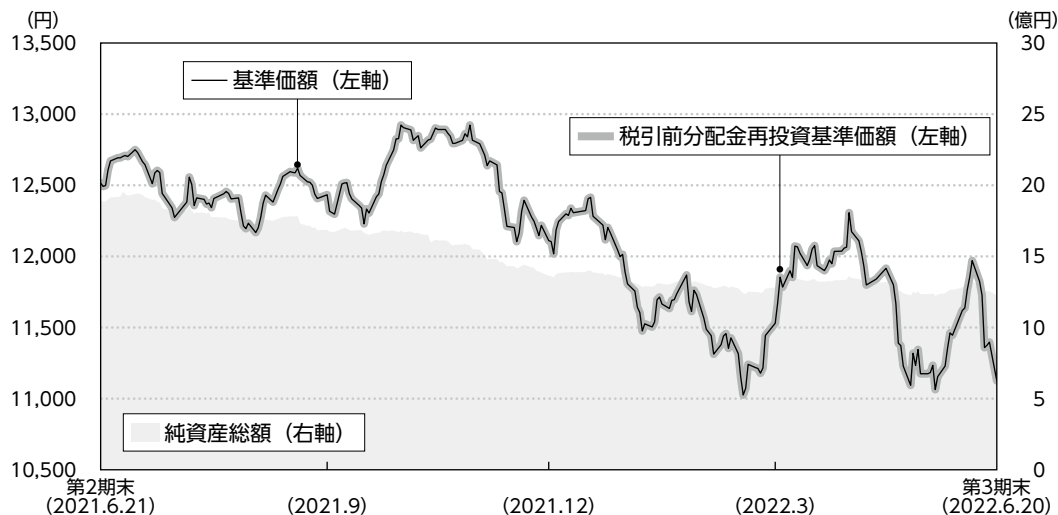
期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第3期首	12,515円	既払分配金	0円
第3期末	11,126円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△11.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・2022年3月上旬から4月中旬にかけて、ロシア・ウクライナ情勢とグローバル景気に対する過度な懸念の後退や米利上げ開始に伴うイベント通過を好感してCB市場が上昇したこと
- ・3月以降、欧米における中央銀行の金融引き締めに積極的な姿勢や、日銀が金融緩和の維持を示唆したことなどにより、円安基調で推移したこと

#### <下落要因>

- ・2021年11月下旬から12月上旬にかけて、米金融政策への懸念やオミクロン型の感染拡大による投資家のリスク回避姿勢などによりCB市場が下落基調で推移したこと
- ・年明け以降、ロシア・ウクライナ情勢に対する懸念やインフレによる悪影響が嫌気されて世界株式市場が下落する中、CB市場も下押し圧力が強まったこと
- ・4月下旬から5月にかけて、情報技術やヘルスケアセクターを中心にCB市場が下落基調で推移したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	135円	1.113%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,121円です。
(投信会社)	( 39)	(0.318)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 93)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.009)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	136	1.122	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

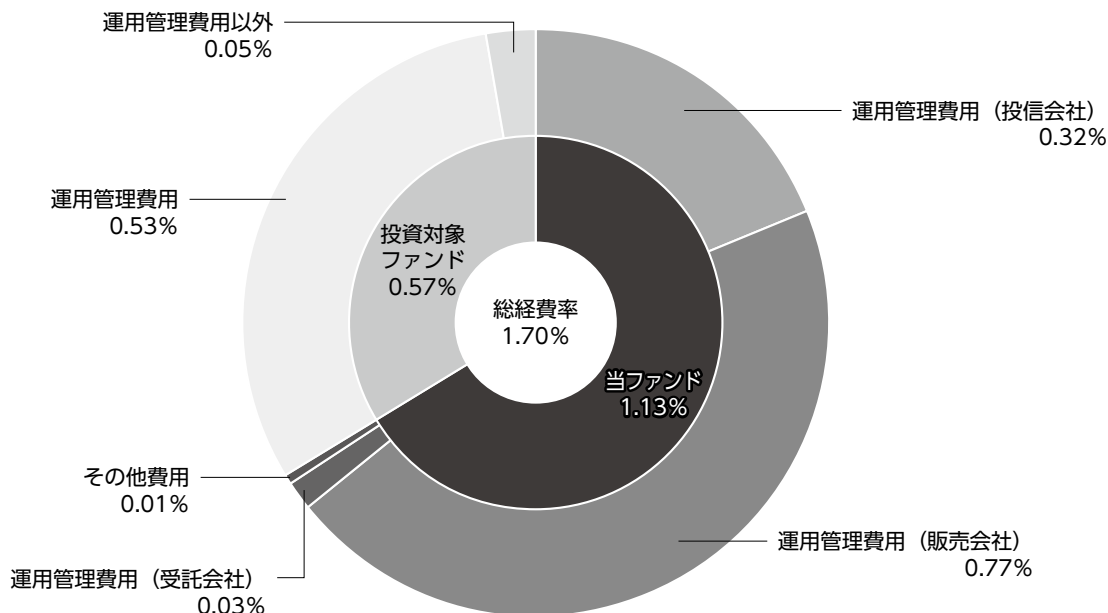
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

### ■グローバルC B市況

当期のグローバルC B市場は期を通じて見ると下落しました。

期初以降、インフレ懸念や企業業績動向などを受けてC B市場は上下に推移する展開となりました。11月下旬から12月上旬にかけては、米金融政策への懸念やオミクロン型の感染拡大による投資家のリスク回避姿勢などによりC B市場は下落基調で推移しました。その後は下げ止まる場面もありましたが、年明け以降はロシア・ウクライナ情勢に対する懸念やインフレによる悪影響が嫌気されて世界株式市場が下落する中、C B市場も下押し圧力が強まりました。3月上旬以降はロシア・ウクライナ情勢とグローバル景気に対する過度な懸念の後退や米利上げ開始に伴うイベント通過を好感してC B市場は上昇する場面もありましたが、4月下旬に入ると情報技術やヘルスケアセクターを中心に再び下落基調で推移しました。

### ■為替市況

当期の米ドル/円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。期初以降、レンジ内で安定して推移しましたが、9月下旬以降は米国の早期利上げ観測の高まりなどにより、米ドル高円安基調で推移しました。3月に入ると米連邦準備制度理事会（FRB）より早期かつ大幅な利上げが示唆されるなど、金融政策正常化への期待感が高まる一方、日銀は金融緩和の維持を示唆したことから日米金利差が拡大し、さらに米ドル高円安が進行しました。

当期のユーロ/円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。期初より欧州での新型コロナウイルスの変異型（デルタ型）の感染拡大や中国経済の減速に伴い、投資家のリスク回避姿勢が高まり円買いユーロ売りが進行しました。その後、エネルギー価格上昇に伴うインフレ懸念の中、円売りユーロ買いが優勢となり、一時的にユーロ高円安となったものの、10月以降は欧州でオミクロン型の感染拡大が見られたことでユーロが売られる展開となり、ユーロ安円高基調で推移しました。2月下旬にはウクライナ情勢の緊迫化およびロシアに対する経済制裁の実施を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、ユーロ安円高に転じました。しかし、3月中旬以降は欧州中央銀行（ECB）の金融引き締めに積極的な姿勢や、日銀が金融緩和の維持を示唆したことなどにより、ユーロ高円安基調で推移しました。



## ポートフォリオ

### ■資産成長型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少数数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■資産成長型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少数数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■シュローダー・グローバルCBファンド（少数数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

\*主な投資対象となる「シュローダー・グローバルCBファンド（少数数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」のマザーファンドについての説明であり、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

#### <業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に情報技術（36.5%）、ヘルスケア（14.4%）、一般消費財・サービス（14.0%）としています。

#### <国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（53.8%）、日本（10.6%）、フランス（6.7%）としています。

#### <通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（62.8%）、ユーロ（23.2%）、円（10.3%）としています。

（注1）比率はすべて対組入債券評価額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICS レベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

### ■資産成長型・為替ヘッジあり

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

### ■資産成長型・為替ヘッジなし

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■ 資産成長型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2021年6月22日～2022年6月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	891円

### ■ 資産成長型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2021年6月22日～2022年6月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,317円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■資産成長型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■資産成長型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■シュローダー・グローバルCBファンド（少数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

足元ではサプライチェーン（供給網）を巡る問題、インフレ懸念の高まり、中央銀行によるテーパリング（量的金融緩和の段階的縮小）と金融引き締め、エネルギー価格の上昇など、投資家のリスク回避姿勢が強まる要素が数多く存在すると考えており、引き続きボラティリティ（価格変動性）の高い状況が継続すると考えています。

そのような状況下で株式と債券の特性を併せ持つCBへの投資は、株式市場の上昇相場においては一定程度追随し、下落相場においては下値を抑制するという点で魅力的であると考えます。CBにとって最も低調となった局面は過ぎたと見ており、今後も市場の動向を注視しつつ、より魅力的なCB銘柄の発掘に努めてまいります。

「シュローダー・グローバルCBファンド（少数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」では、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお「為替ヘッジあり」については、組入外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド（資産成長型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### ■ 組入ファンド

	第3期末 2022年6月20日
シュロダー・グローバルCBファンド (少数私募) 為替ヘッジあり	98.4%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

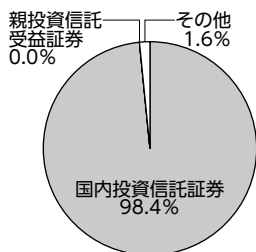
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■ 純資産等

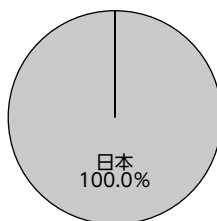
項目	第3期末 2022年6月20日
純資産総額	982,888,302円
受益権総口数	1,070,421,409口
1万口当たり基準価額	9,182円

(注) 当期間中における追加設定元本額は181,585,996円、同解約元本額は645,493,727円です。

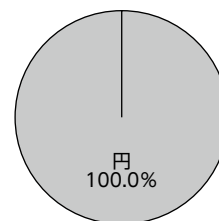
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2022年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第3期末 2022年6月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少数私募) 為替ヘッジなし	98.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

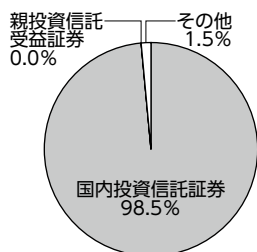
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

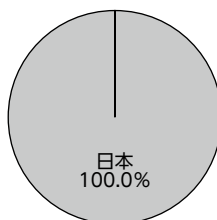
項目	第3期末 2022年6月20日
純資産総額	1,224,905,142円
受益権総口数	1,100,975,812口
1万口当たり基準価額	11,126円

(注) 当期間中における追加設定元本額は230,900,740円、同解約元本額は642,833,255円です。

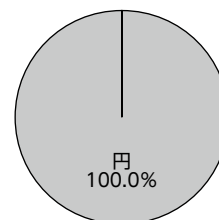
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分

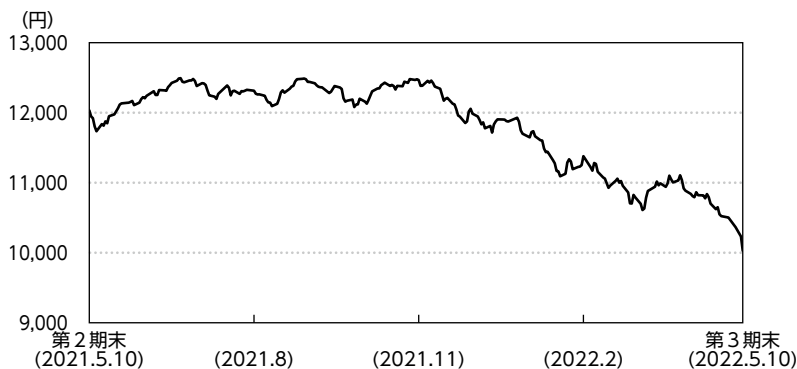


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2022年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなしの概要

<シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり>

### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



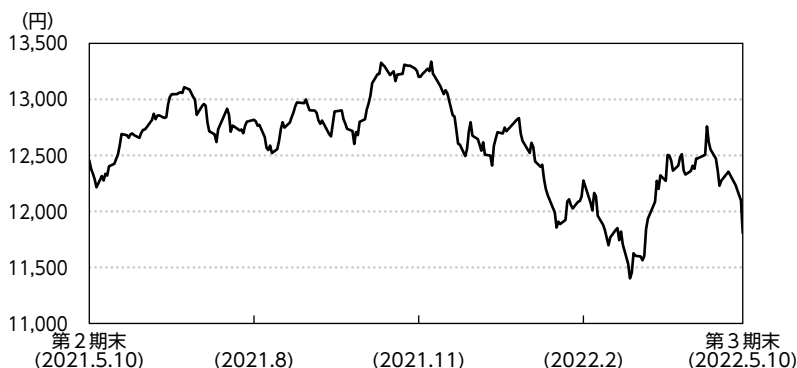
### ■ 1万口当たりの費用明細

2021.5.11～2022.5.10

項目	金額
信託報酬	63円
（投信会社）	(60)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
その他費用	6
（保管費用）	(3)
（監査費用）	(1)
（印刷費用）	(1)
（その他）	(0)
合計	69

<シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし>

### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



### ■ 1万口当たりの費用明細

2021.5.11～2022.5.10

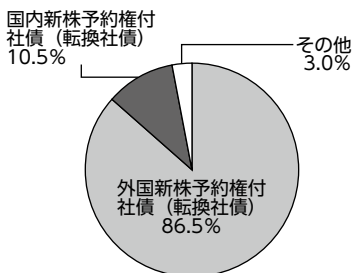
項目	金額
信託報酬	67円
（投信会社）	(64)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
その他費用	6
（保管費用）	(4)
（監査費用）	(2)
（印刷費用）	(1)
（その他）	(0)
合計	73

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。  
 (注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものです。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

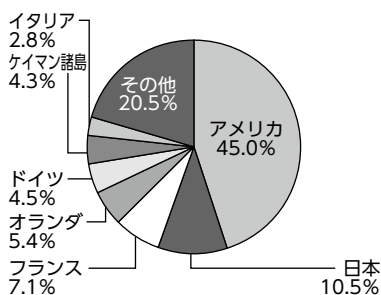
## ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ELECTRICITE DE FR 0% CB	ユーロ	2.1%
FORD MOTOR 0% CB	米ドル	1.8
QIAGEN NV 0% CB	米ドル	1.8
AIRBNB INC 0% CB	米ドル	1.7
POSCO 0% CB	ユーロ	1.6
CELLNEX TELECOM 0.5% CB	ユーロ	1.6
AMERICA MOVIL 0% CB	ユーロ	1.5
DEXCOM INC 0.25% CB	米ドル	1.5
COUPA SOFT 0.375% CB	米ドル	1.3
BLOCK INC 0.125% CB	米ドル	1.2
組入銘柄数		170

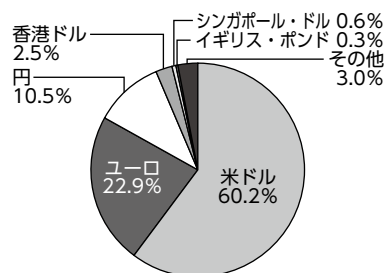
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 組み入れているのは「シュローダー・グローバルCBファンド (少数私募) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。

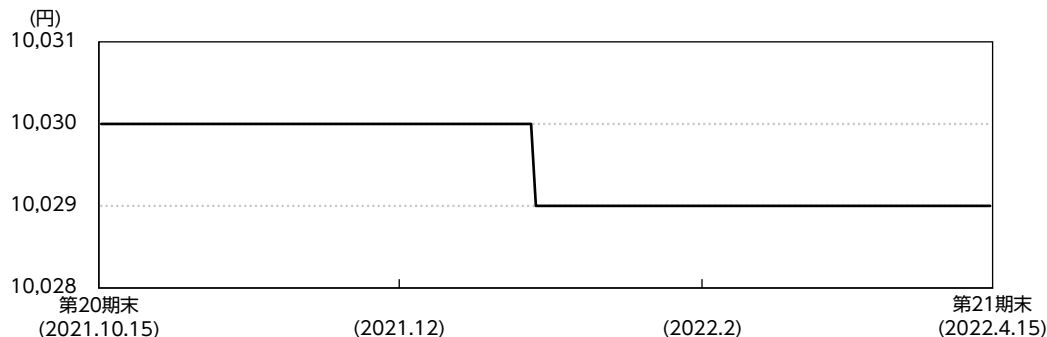
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2022年5月10日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しています。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入資産の明細をご参照ください。



## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

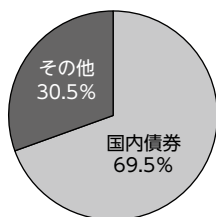
銘柄名	通貨	比率
第710回 東京都公募公債	円	29.7%
第193回 神奈川県公募公債	円	19.9
第115回 共同発行市場公募地方債	円	19.9
組入銘柄数	3	

### ■ 1万口当たりの費用明細

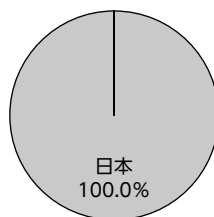
2021.10.16~2022.4.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

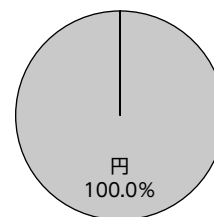
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2022年4月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー・ グローバルCBファンド (少数私募)為替ヘッジあり	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2019年6月28日	10,000	—	—	10,000	—	—	11
1期(2020年6月22日)	10,359	0	3.6	10,359	98.5	0.0	285
2期(2021年6月21日)	11,914	0	15.0	11,914	98.5	0.0	1,828
3期(2022年6月20日)	9,182	0	△22.9	9,182	98.4	0.0	982

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー・ グローバルCBファンド (少数私募)為替ヘッジあり	債券 組入比率	
(期首)2021年6月21日	円	%	%	%	%
	11,914	—	98.5	0.0	0.0
6月末	12,068	1.3	98.4	0.0	0.0
7月末	11,883	△0.3	98.6	0.0	0.0
8月末	11,905	△0.1	98.2	0.0	0.0
9月末	11,761	△1.3	98.4	0.0	0.0
10月末	11,873	△0.3	98.8	0.0	0.0
11月末	11,668	△2.1	99.4	0.0	0.0
12月末	11,420	△4.1	98.5	0.0	0.0
2022年1月末	10,661	△10.5	98.7	0.0	0.0
2月末	10,526	△11.7	99.0	0.0	0.0
3月末	10,652	△10.6	99.0	0.0	0.0
4月末	10,117	△15.1	99.3	0.0	0.0
5月末	9,739	△18.3	99.1	0.0	0.0
(期末)2022年6月20日	9,182	△22.9	98.4	0.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2021年6月22日～2022年6月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	千口 59,278	千円 73,320	千口 510,324	千円 615,140

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2021年6月22日～2022年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2022年6月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シュロージャー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	千口 1,460,634	千口 1,009,589	千円 967,388	% 98.4
合計	1,460,634	1,009,589	967,388	98.4

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,381千口です。

投資信託財産の構成

2022年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロージャー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	千円 967,388	% 97.8
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	21,999	2.2
投資信託財産総額	989,398	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年6月20日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>989,398,156円</b>
コール・ローン等	21,999,906
シュロダー・グローバルC Bファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり(評価額)	967,388,252
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	9,998
<b>(B) 負債</b>	<b>6,509,854</b>
未払解約金	15
未払信託報酬	6,451,571
その他未払費用	58,268
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>982,888,302</b>
元本	1,070,421,409
次期繰越損益金	△ 87,533,107
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,070,421,409口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>9,182円</b>

(注1) 期首元本額 1,534,329,140円  
期中追加設定元本額 181,585,996円  
期中一部解約元本額 645,493,727円

(注2) 元本の欠損  
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は87,533,107円です。

## 損益の状況

当期 (2021年6月22日～2022年6月20日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 12,442円</b>
受取利息	3,415
支払利息	△ 15,857
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△276,340,777</b>
売買益	16,591,723
売買損	△292,932,500
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 15,312,308</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△291,665,527</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>55,192,717</b>
(分配準備積立金)	( 55,201,443)
(繰越欠損金)	(△ 8,726)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>148,939,703</b>
(配当等相当額)	( 40,219,216)
(売買損益相当額)	( 108,720,487)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>△ 87,533,107</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>△ 87,533,107</b>
追加信託差損益金	148,939,703
(配当等相当額)	( 40,219,216)
(売買損益相当額)	( 108,720,487)
分配準備積立金	55,201,443
繰越欠損金	△291,674,253

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	40,219,216円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	55,201,443円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	95,420,659円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	891.43円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー・ グローバルCBファンド (少数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2019年6月28日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 12
1期(2020年6月22日)	10,399	0	4.0	10,399	98.5	0.0	296
2期(2021年6月21日)	12,515	0	20.3	12,515	98.5	0.0	1,893
3期(2022年6月20日)	11,126	0	△11.1	11,126	98.5	0.0	1,224

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー・ グローバルCBファンド (少数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率
(期首)2021年6月21日	円 12,515	% -	% 98.5	% 0.0
6月末	12,703	1.5	96.9	0.0
7月末	12,411	△0.8	98.6	0.0
8月末	12,425	△0.7	98.7	0.0
9月末	12,442	△0.6	98.7	0.0
10月末	12,763	2.0	98.6	0.0
11月末	12,456	△0.5	99.1	0.0
12月末	12,307	△1.7	98.3	0.0
2022年1月末	11,504	△8.1	98.5	0.0
2月末	11,379	△9.1	98.3	0.0
3月末	12,067	△3.6	99.0	0.0
4月末	11,799	△5.7	98.9	0.0
5月末	11,355	△9.3	98.6	0.0
(期末)2022年6月20日	11,126	△11.1	98.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2021年6月22日～2022年6月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 62,331	千円 80,100	千口 467,617	千円 602,120

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2021年6月22日～2022年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2022年6月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 1,450,117	千口 1,044,830	千円 1,206,152	% 98.5
合計	1,450,117	1,044,830	1,206,152	98.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,381千口です。

投資信託財産の構成

2022年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千円 1,206,152	% 97.7
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	27,884	2.3
投資信託財産総額	1,234,047	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。



## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年6月20日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,234,047,416円</b>
コール・ローン等	21,524,942
シュロダー・グローバルCBファンド(少数私募)為替ヘッジなし(評価額)	1,206,152,476
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	9,998
未収入金	6,360,000
<b>(B) 負債</b>	<b>9,142,274</b>
未払解約金	1,796,398
未払信託報酬	7,284,309
その他未払費用	61,567
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,224,905,142</b>
元本	1,100,975,812
次期繰越損益金	123,929,330
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,100,975,812口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	11,126円
(注) 期首元本額	1,512,908,327円
期中追加設定元本額	230,900,740円
期中一部解約元本額	642,833,255円

## 損益の状況

当期 (2021年6月22日～2022年6月20日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 14,883円</b>
受取利息	3,753
支払利息	△ 18,636
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 134,865,720</b>
売却益	14,708,793
売却損	△ 149,574,513
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 16,860,064</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 151,740,667</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>97,641,141</b>
(分配準備積立金)	( 97,649,527)
(繰越欠損金)	(△ 8,386)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>178,028,856</b>
(配当等相当額)	( 47,370,539)
(売買損益相当額)	( 130,658,317)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>123,929,330</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>123,929,330</b>
追加信託差損益金	178,028,856
(配当等相当額)	( 47,370,539)
(売買損益相当額)	( 130,658,317)
分配準備積立金	97,649,527
繰越欠損金	△ 151,749,053

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	47,370,539円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	97,649,527円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	145,020,066円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,317.20円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■運用体制の変更について

運用部門については、CO-CIO（取締役執行役員、統括部長）の2名体制からCIO（取締役執行役員）1名とCO-CIO（統括部長）1名の体制に変更しました。

新たにCIOが就任し、従来のCO-CIOのうちの1名（統括部長）が、引き続きCO-CIOを務めています。

（2022年3月25日）

## ■「資産成長型・為替ヘッジあり」の自社の実質保有比率

2022年5月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■「資産成長型・為替ヘッジなし」の自社の実質保有比率

2022年5月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		資産成長型・為替ヘッジあり	資産成長型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）		
信 託 期 間	2019年6月28日～2029年5月10日		
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のC B（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー・グローバルC Bファンド	「シュローダー・グローバルC Bファンド（少数数私募）為替ヘッジあり」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「シュローダー・グローバルC Bファンド（少数数私募）為替ヘッジなし」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	シュローダー・グローバルC Bファンド（少数数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし	シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	
	シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	日本を含む世界のC B（転換社債）	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。		

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。</li> <li>マザーファンド組入比率には制限を設けません。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。</li> </ul>
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。	

## シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日は除く）

# シュローダー・グローバル CBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり

## 第3期 運用報告書（全体版）

（決算日 2022年5月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり」は、2022年5月10日に第3期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産額
		税分	込配	み騰落 期中率		
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2019年7月1日	10,000		—	—	—	522
1期(2020年5月11日)	9,982		0	△0.2	96.2	1,011
2期(2021年5月10日)	12,034		0	20.6	93.9	3,788
3期(2022年5月10日)	10,027		0	△16.7	99.2	1,890

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰落	率	
(期首)	円		%	%
2021年5月10日	12,034		—	93.9
5月末	12,141		0.9	99.8
6月末	12,493		3.8	99.0
7月末	12,314		2.3	98.9
8月末	12,373		2.8	99.9
9月末	12,158		1.0	101.9
10月末	12,383		2.9	99.8
11月末	12,119		0.7	97.4
12月末	11,874		△1.3	100.6
2022年1月末	11,128		△7.5	98.4
2月末	11,027		△8.4	96.9
3月末	11,049		△8.2	101.6
4月末	10,523		△12.6	99.2
(期末)				
2022年5月10日	10,027		△16.7	99.2

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

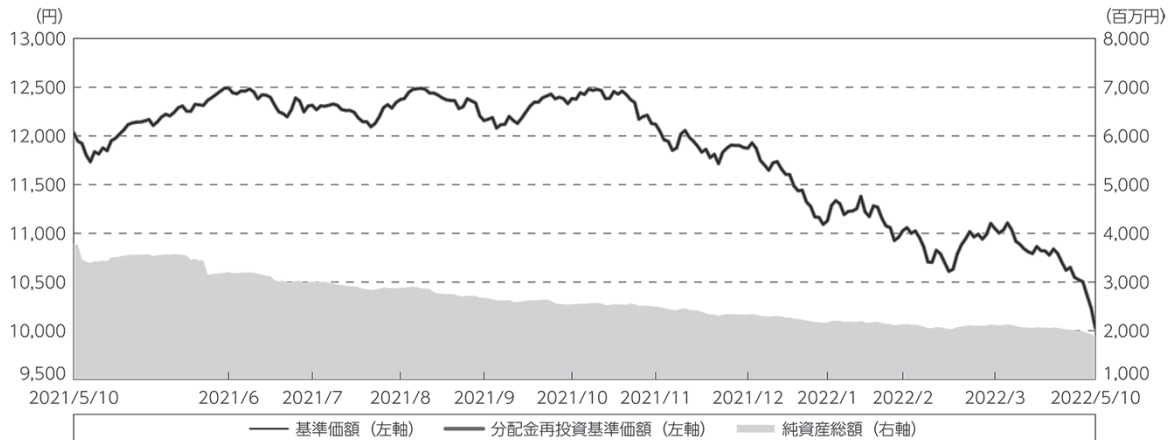
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2021年5月11日～2022年5月10日)

期中の基準価額等の推移



期首：12,034円

期末：10,027円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 16.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の変動要因

期首12,034円でスタートした基準価額は、10,027円(分配後)で期末を迎え、期首比16.7%(分配金再投資ベース)の下落となりました。

当期、CB市場は下落しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面が見られました。一方で、株式市場の下落局面においては、CB市場は下値抵抗力を發揮しましたが、期を通しては軟調な推移となりました。

## 投資環境

新型コロナウイルスの順調なワクチン普及や、堅調な企業決算を背景に、堅調な推移をしてきた株式市場は、当期に入り、インフレ懸念や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に対する警戒感、中国不動産セクターに対する懸念を背景に価格変動が高い推移となりました。そして2022年2月下旬にはロシアによるウクライナ侵攻が開始され、先進各国によるロシアに対する経済制裁の発動を背景に株式市場は下落し、CB市場も軟調な推移となりました。その後、ロシア・ウクライナの和平交渉に関するニュースにポジティブな反応が見られたこと、また3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において0.25%の利上げを実施し、引き締めを積極的に進める見方を示したことで、金融政策への不透明感が和らぎ、株式市場は反発しましたが、インフレの継続懸念、金利の上昇、今後の利上げや金融引き締めを積極的に進めるとするFRBの姿勢、そして経済成長の鈍化、サプライチェーンの混乱に加え、中国における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う都市封鎖などの様々な要因により投資家の懸念が高まり、株式市場は軟調な推移となり、CB市場も下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2021年5月11日～ 2022年5月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	760

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

2022年3月半ばに開催されたFOMCにおいて利上げを発表し、FRBのパウエル議長は今後の金融政策の方向性について示し、積極的な金融政策に舵を切りました。現在、5月、6月のそれぞれ0.5%の利上げについては既に市場に織り込み済みとみています。4月は金利が上昇し、グローバル総合債券のインデックスは大きく下落しました。このことによるCBのデュレーションに対する直接的な影響はごく僅かでしたが、一方で、バランス型のCBにおいては、常に株価の動きに左右されるため、グロース銘柄の比率の高いCB市場は下落圧力を受けています。ハイテク株は大きく修正し、CB市場に対する重しとなっています。一方で、株式市場に対する逆風によって、CBの株式エクスポージャーが低下し、市場リスクも低下しました。ポートフォリオにおいては株式エクスポージャーを戦術的に引き上げるタイミングであると考えます。しかしながら、サプライチェーンの問題、都市封鎖やインフレ懸念、中央銀行のテーパリングと金融引き締めなど、市場調整のきっかけとなる要因は依然多数存在しています。このような中、すべての資産が無差別的に売られる局面が到来しても驚くことではありません。このような状況下では、資産の分散投資効果は無くなります。セーフティネットが組み込まれたCBは、下落時における衝撃を自ら緩和することが出来る資産クラスです。株式市場の後退が見られ、ボラティリティ(変動性)が高まる環境下においては、CBは下値抵抗力を大いに発揮します。その一方で、市場が好転した場合においては、その動きに追随するという特性をCBは有しています。CBにとって最も低調となった局面は過ぎたと考えており、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。



○1万口当たりの費用明細

(2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	63	0.533	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(60)	(0.506)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.001)	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.026)	・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	6	0.048	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.029)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.012)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 1 )	(0.006)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI: Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	69	0.581	
期中の平均基準価額は、11,798円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月11日～2022年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 167,318	千円 216,578	千口 1,584,612	千円 2,039,025

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2022年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年5月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 3,028,946	千口 1,611,652	千円 1,933,176

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 1,933,176	% 99.8
コール・ローン等、その他	4,114	0.2
投資信託財産総額	1,937,290	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,579,906千円)の投資信託財産総額(4,083,094千円)に対する比率は87.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.03円、1ユーロ=137.27円、1英ポンド=160.37円、1スイスフラン=130.97円、1香港ドル=16.56円、1シンガポールドル=93.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,360,956,222
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	1,933,176,620
未収入金	2,427,779,602
(B) 負債	2,470,794,298
未払金	2,464,698,632
未払信託報酬	5,879,511
その他未払費用	216,155
(C) 純資産総額(A-B)	1,890,161,924
元本	1,884,982,323
次期繰越損益金	5,179,601
(D) 受益権総口数	1,884,982,323口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,027円

[元本増減]

期首元本額	3,148,666,178円
期中追加設定元本額	130,824,604円
期中一部解約元本額	1,394,508,459円

○損益の状況 (2021年5月11日～2022年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△365,533,700
売買益	211,412,909
売買損	△576,946,609
(B) 信託報酬等	△14,432,895
(C) 当期損益金(A+B)	△379,966,595
(D) 前期繰越損益金	135,170,641
(E) 追加信託差損益金	249,975,555
(配当等相当額)	(8,225,622)
(売買損益相当額)	(241,749,933)
(F) 計(C+D+E)	5,179,601
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	5,179,601
追加信託差損益金	249,975,555
(配当等相当額)	(8,271,359)
(売買損益相当額)	(241,704,196)
分配準備積立金	135,170,641
繰越損益金	△379,966,595

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(8,271,359円)および分配準備積立金(135,170,641円)より分配対象収益は143,442,000円(10,000口当たり760円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第3期〉

【計算期間 2021年5月11日から2022年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2019年7月1日	10,000		—	—	1,040
1期(2020年5月11日)	9,986	△	0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995	△	4.7	97.0	4,083

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2021年5月10日	12,585		—	93.4
5月末	12,815		1.8	99.2
6月末	13,209		5.0	98.9
7月末	12,905		2.5	99.0
8月末	12,995		3.3	99.3
9月末	12,944		2.9	99.8
10月末	13,391		6.4	99.8
11月末	13,020		3.5	97.9
12月末	12,910		2.6	99.7
2022年1月末	12,096	△	3.9	98.1
2月末	12,010	△	4.6	96.9
3月末	12,645		0.5	97.6
4月末	12,467	△	0.9	97.9
(期 末)				
2022年5月10日	11,995	△	4.7	97.0

(注) 基準価額は1万口当たり。

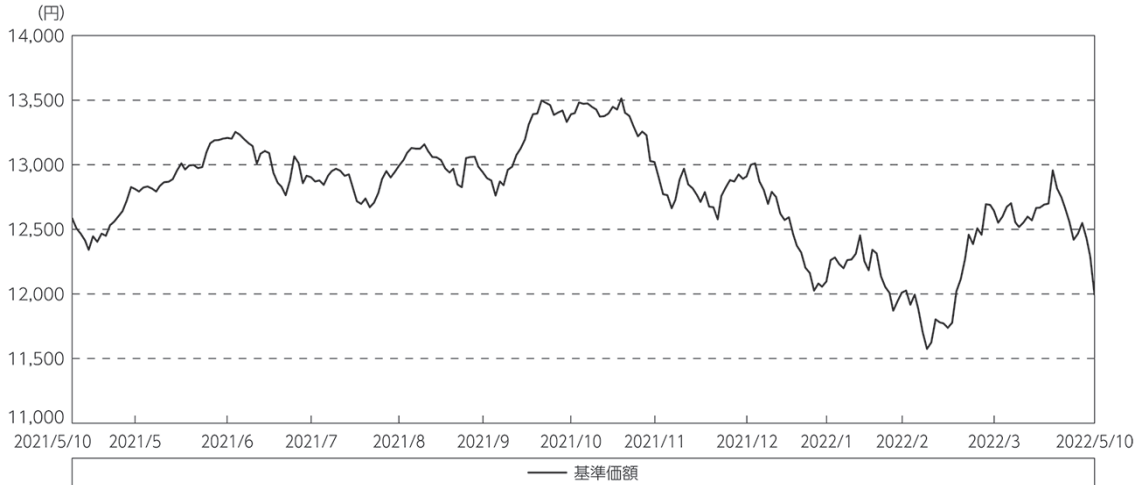
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2021年5月11日～2022年5月10日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,585円でスタートした基準価額は、11,995円で期末を迎え、期首比4.7%の下落となりました。

当期、CB市場は下落しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対し劣後する局面が見られました。一方で、株式市場の下落局面においては、CB市場は下値抵抗力を発揮しましたが、期を通しては軟調な推移となりました。

投資環境

新型コロナウイルスの順調なワクチン普及や、堅調な企業決算を背景に、堅調な推移をしてきた株式市場は、当期に入り、インフレ懸念や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に対する警戒感、中国不動産セクターに対する懸念を背景に価格変動が高い推移となりました。そして2022年2月下旬にはロシアによるウクライナ侵攻が開始され、先進各国によるロシアに対する経済制裁の発動を背景に株式市場は下落し、CB市場も軟調な推移となりました。その後、ロシア・ウクライナの和平交渉に関するニュースにポジティブな反応が見られたこと、また3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において0.25%の利上げを実施し、引き締めを積極的に進める見方を示したことで、金融政策への不透明感が和らぎ、株式市場は反発しましたが、インフレの継続懸念、金利の上昇、今後の利上げや金融引き締めを積極的に進めるとするFRBの姿勢、そして経済成長の鈍化、サプライチェーンの混乱に加え、中国における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う都市封鎖などの様々な要因により投資家の懸念が高まり、株式市場は軟調な推移となり、CB市場も下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○今後の運用方針

2022年3月半ばに開催されたFOMCにおいて利上げを発表し、FRBのパウエル議長は今後の金融政策の方向性について示し、積極的な金融政策に舵を切りました。現在、5月、6月のそれぞれ0.5%の利上げについては既に市場に織り込み済みとみています。4月は金利が上昇し、グローバル総合債券のインデックスは大きく下落しました。このことによるCBのデュレーションに対する直接的な影響はごく僅かでしたが、一方で、バランス型のCBにおいては、常に株価の動きに左右されるため、グロース銘柄の比率の高いCB市場は下落圧力を受けています。ハイテク株は大きく修正し、CB市場に対する重しとなっています。一方で、株式市場に対する逆風によって、CBの株式エクスポージャーが低下し、市場リスクも低下しました。ポートフォリオにおいては株式エクスポージャーを戦術的に引き上げるタイミングであると考えます。しかしながら、サプライチェーンの問題、都市封鎖やインフレ懸念、中央銀行のテーパリングと金融引き締めなど、市場調整のきっかけとなる要因は依然多数存在しています。このような中、すべての資産が無差別的に売られる局面が到来しても驚くことではありません。このような状況下では、資産の分散投資効果は無くなります。セーフティネットが組み込まれたCBは、下落時における衝撃を自ら緩和することが出来る資産クラスです。株式市場の後退が見られ、ボラティリティ(変動性)が高まる環境下においては、CBは下値抵抗力を大いに発揮します。その一方で、市場が好転した場合においては、その動きに追随するという特性をCBは有しています。CBにとって最も低調となった局面は過ぎたと考えており、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.029	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.029)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	4	0.029	
期中の平均基準価額は、12,783円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



○売買及び取引の状況

(2021年5月11日～2022年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 160,000	千円 165,475	千円 240,000 ( 20,000)	千円 256,199 ( 20,000)
外	アメリカ	千米ドル 12,096	千米ドル 12,881	千米ドル 26,165 ( 250)	千米ドル 26,580 ( 254)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	500	555	2,900	2,976
	イタリア	100	93	600	591
	フランス	590	647	1,786	1,964
	オランダ	100	124	600	585
	スペイン	400	458	900	839
	ベルギー	—	—	100	113
	ルクセンブルク	—	—	200	154
	その他	800	883	1,000	1,166
国	イギリス	千英ポンド —	千英ポンド —	千英ポンド 600	千英ポンド 513
	スイス	千スイスフラン —	千スイスフラン —	千スイスフラン 400	千スイスフラン 413
	オーストラリア	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 300 ( 300)	千オーストラリアドル 310 ( 300)
	香港	千香港ドル 2,000	千香港ドル 2,098	千香港ドル 8,000 ( 4,000)	千香港ドル 9,521 ( 4,000)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2022年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年5月10日現在)

## 国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
ソニー130%コールオプション条項付第6回無担保転換社債型新		7,000	15,400
GMO PMT GTW INC 0% 26/06/22		10,000	10,255
MERCARI INC 0% 28/07/14		20,000	16,500
DMG MORI CO LTD 0% 24/07/16		20,000	20,331
SOSEI GROUP COR 0.25% 26/07/27		20,000	18,900
NIPRO CORPORATION 0% 26/09/25		20,000	20,370
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05		30,000	31,440
TRANS COSMOS INC 0% 26/12/14		20,000	21,033
KOEI TECMO HLDGS 0% 24/12/20		10,000	10,430
MEDIPAL HOLDINGS 0% 22/10/07		20,000	20,300
SCREEN HOLDINGS 0% 25/06/11		10,000	11,140
SBI HOLDINGS 0% 23/09/13		20,000	20,790
DIGITAL GARAGE 0% 23/09/14		20,000	20,530
SHIP HEALTHCARE HOLD 0%23/12/13		20,000	20,620
ROHM CO LTD 0% 24/12/05		30,000	31,125
SBI HOLDINGS 0% 25/07/25		40,000	45,760
RELO GROUP INC 0% 27/12/17		30,000	29,070
KYORITSU MAINTENANCE 0%26/01/29		10,000	11,605
MENICON CO LTD 0% 25/01/29		10,000	10,445
SENKO GROUP HOLDINGS 0%25/03/18		20,000	20,110
YAMAZEN CORPORATION 0% 26/4/30		20,000	20,965
合 計	額 面 金 額	407,000	427,119
	銘 柄 数 < 比 率 >	21	<10.5%>

(注) 評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
BOOKING HOLDINGS 0.75%CB	16	21	2,746
SUNNOVA ENERGY 0.25% CB	150	109	14,204
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	258	183	23,840
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	199	25,990
DEXCOM INC 0.25% CB	464	457	59,500
LYFT INC 1.5% CB	175	159	20,741
GLOBALWAFERS CO 0% CB	200	181	23,619
ETSY INC 0.25% CB	160	121	15,738
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	200	234	30,466
SILICON LABORA 0.625% CB	70	88	11,548
COUPA SOFT 0.375% CB	554	419	54,482
SPLUNK INC 1.125% CB	389	325	42,336
ZENDESK INC 0.625% CB	215	239	31,199
OKTA INC 0.375% CB	234	185	24,128
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	229	29,812
BENTLEY SYS 0.375% CB	164	132	17,241
FIVE9 INC 0.5% CB	200	194	25,316
PACIRA PHARMA 0.75% CB	10	10	1,372
CLOUDFLARE INC 0% CB	417	325	42,261
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB	70	54	7,096
ETSY INC CONV 0.125% CB	200	166	21,610
BEAUTY HEALTH 1.25% CB	162	127	16,525
SEA LTD 0.25% CB	276	202	26,377
NICE LTD 0% CB	229	222	28,969
STRIDE INC 1.125% CB	94	92	12,005
NUTANIX INC 0.25% CB	100	74	9,700
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB	117	73	9,571
FIVERR INTER 0% CB	200	153	19,894
AMYRIS INC 1.5% CB	100	63	8,315
NOVOCURE LTD 0% CB	162	138	18,063
DIGITALOCEAN 0% CB	140	100	13,125
NCL CORP 1.125% CB	100	78	10,259
GUARDANT HEALTH 0% CB	380	250	32,581
OPENDOOR TECH 0.25% CB	50	33	4,341
CONFLUENT INC 0% CB	31	21	2,730
TECHTARGET INC 0% CB	66	52	6,874
LUCID GROUP 1.25% CB	250	163	21,220

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
LCI INDUSTRI 1.125% CB	48	42	5,516
BILL.COM HOLDINGS 0% CB	130	130	16,998
BLOCK INC 0.125% CB	350	367	47,761
BOX INC 0% CB	160	203	26,401
WAYFAIR INC 1% CB	70	53	6,963
BILIBILI INC 1.25% CB	96	90	11,765
NEXTERA ENERGY 0% CB	200	195	25,477
SNAP INC 0.125% CB	292	236	30,735
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	182	23,678
EXPEDIA GROUP INC 0% CB	250	258	33,612
ENPHASE ENERGY 0% CB	105	94	12,223
ENPHASE ENERGY 0% CB	153	137	17,895
ITRON INC 0% CB	200	165	21,545
AIRBNB INC 0% CB	632	532	69,209
CERIDIAN HCM 0.25% CB	286	232	30,193
CABLE ONE INC 0% CB	200	157	20,492
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	54	46	6,073
NEXTERA ENERGY 0% CB	50	46	6,075
HALOZYME THERAP 0.25% CB	156	129	16,814
DROPBOX INC 0% CB	100	87	11,348
DROPBOX INC 0% CB	328	284	37,051
FORD MOTOR 0% CB	575	578	75,253
TYLER TECH 0.25% CB	200	193	25,099
BLACKLINE INC 0% CB	407	319	41,547
RAPID7 INC 0.25% CB	133	120	15,651
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	101	13,259
SOLAREEDGE TECH 0% CB	150	164	21,425
IONIS PHARMACEU 0% CB	250	221	28,814
LI AUTO INC 0.25% CB	150	145	18,899
VERINT SYSTEMS 0.25% CB	80	80	10,475
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	150	147	19,124
BIOMARIN PHAR 0.599% CB	100	98	12,827
EXACT SCIENCES 1% CB	100	103	13,425
VIAVI SOLUTIONS 1% CB	50	59	7,728
JAZZ INVEST 1.5% CB	200	198	25,762
EXACT SCIENCES 0.375% CB	225	181	23,595
PURE STORAGE 0.125% CB	225	254	33,074
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	337	43,826
WIX.COM LTD 0% CB	125	120	15,624

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
LG DISPLAY CO LTD 1.5%CB	200	205	26,663
ILLUMINA INC 0% CB	200	195	25,407
SPLUNK INC 1.125% CB	100	95	12,369
SPLUNK INC 0.5% CB	330	326	42,434
J2 GLOBAL 1.75% CB	75	75	9,849
BHARTI AIRTEL 1.5% CB	200	259	33,781
EXACT SCIENCES 0.375% CB	200	151	19,725
EURONET WORLD 0.75% CB	18	19	2,539
COUPA SOFT 0.125% CB	150	126	16,471
ZHEN DING TECH HLD 0% CB	200	195	25,411
ZYNGA INC 0.25% CB	200	220	28,647
STMICROELECTRO 0% CB	200	221	28,795
STMICROELECTRO 0% CB	200	218	28,393
ENVESTNET INC 0.75% CB	72	66	8,665
ADM AG HOLDING 0% CB	200	209	27,178
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	50	50	6,550
LIBERTY BROAD 2.75% CB	118	112	14,653
ESR CAYMAN 1.5% CB	200	196	25,610
SHOPIFY INC 0.125% CB	311	262	34,166
OKTA INC CB 0.125%	350	301	39,164
ETSY INC CONV 0.125% CB	52	64	8,377
INSULET CORP 0.375% CB	100	106	13,809
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	100	112	14,610
LIBERTY BROAD 1.25% CB	309	288	37,517
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	150	150	19,564
XERO INVESTMENTS 0% CB	200	167	21,766
XIAOMI BEST 0% CB	200	168	21,848
QIAGEN NV 0% CB	600	559	72,808
LUMENTUM HOLD 0.5% CB	100	108	14,116
IONIS PHARMACE 0.125% CB	100	88	11,488
ASAHI REFINING 0% CB	100	98	12,779
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB	241	215	27,984
NUVASIVE INC 0.375% CB	96	88	11,531
VINGROUP JSC 3% CB	200	180	23,405
小 計	額 面 金 額	18,896	2,457,150
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	<60.2%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DEUTSCHE POST 0.05% CB	300	302	41,583
RAG-STIFTUNG 0% CB	300	311	42,795

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
LEG IMMOBILIEN SE 0.4%CB	100	88	12,096
ZALANDO SE 0.625% CB	200	164	22,627
ZALANDO SE 0.05% CB	200	177	24,304
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	200	179	24,635
DEUTSCHE LUFT 2% CB	100	103	14,203
小 計	額 面 金 額 1,400	1,327	182,246
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	<4.5%>
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DIASORIN SPA 0% CB	200	178	24,472
NEXI SPA CONV 1.75% CB	100	92	12,652
PIRELLI & C SPA 0% CB	100	100	13,796
PRYSMIAN SPA 0% CB	300	300	41,198
NEXI SPA CONV 0% CB	200	153	21,132
小 計	額 面 金 額 900	825	113,252
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	<2.8%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SAFRAN SA 0% CB	165	146	20,126
ATOS SE 0% CB	300	276	37,989
VEOLIA ENVIRONNE 0% CB	152	161	22,232
SAFRAN SA REGS0.875% CB	151	171	23,510
SELENA CONV REGS 0% CB	200	203	27,893
ELECTRICITE DE FR 0% CB	546	610	83,837
SOITEC 0% CB	69	82	11,339
SCHNEIDER ELECTRIC0% CB	172	184	25,264
ACCOR SA CONV 0.7% CB	189	191	26,272
FNAC DARTY 0.25% CB	85	81	11,255
小 計	額 面 金 額 2,032	2,110	289,721
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	<7.1%>
(ユーロ・・・オランダ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA INTER 0% CB	100	129	17,718
SHOP APOTHEKE EUR 0% CB	100	82	11,299
AMERICA MOVIL 0% CB	400	444	61,066
小 計	額 面 金 額 600	656	90,085
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	<2.2%>
(ユーロ・・・スペイン)	千ユーロ	千ユーロ	千円
INTL CON AIR 1.125% CB	100	79	10,894
CELLNEX TELECOM 0.5% CB	400	467	64,112
小 計	額 面 金 額 500	546	75,007
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<1.8%>

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ベルギー) UMICORE SA CONV 0% CB	千ユーロ 100	千ユーロ 100	千円 13,746
小 計	額 面 金 額 100	100	13,746
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.3%>
(ユーロ・・・ルクセンブルク) OLIVER CAPITAL 0% CB	千ユーロ 100	千ユーロ 104	千円 14,385
小 計	額 面 金 額 100	104	14,385
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.4%>
(ユーロ・・・その他) GN STORE NORD 0% CB POSCO 0% CB GEELY SWEDEN FIN 0% CB ZHEJIANG EXPRESS 0% CB ANLLIAN CAPITAL 0% CB	千ユーロ 100 500 200 100 200	千ユーロ 94 489 224 103 215	千円 12,955 67,196 30,795 14,262 29,593
小 計	額 面 金 額 1,100	1,127	154,803
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	<3.8%>
ユ ー ロ 計	額 面 金 額 6,732	6,798	933,247
	銘 柄 数 < 比 率 >	34	<22.9%>
(イギリス) IWG GROUP HOLD 0.5% CB	千英ポンド 100	千英ポンド 83	千円 13,434
小 計	額 面 金 額 100	83	13,434
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.3%>
(香港) KINGSOFT CORP 0.625% CB Citi/Longfor Group 0%CB CATHAY PACIFIC 2.75% CB	千香港ドル 2,000 2,000 2,000	千香港ドル 2,060 2,092 2,073	千円 34,113 34,644 34,336
小 計	額 面 金 額 6,000	6,225	103,095
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	<2.5%>
(シンガポール) SINGAPORE AIR 1.625% CB	千シンガポールドル 250	千シンガポールドル 267	千円 25,024
小 計	額 面 金 額 250	267	25,024
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.6%>
合 計	額 面 金 額 —	—	3,531,952
	銘 柄 数 < 比 率 >	149	<86.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	3,959,072	97.0
コール・ローン等、その他	124,022	3.0
投資信託財産総額	4,083,094	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,579,906千円)の投資信託財産総額(4,083,094千円)に対する比率は87.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.03円、1ユーロ=137.27円、1英ポンド=160.37円、1スイスフラン=130.97円、1香港ドル=16.56円、1シンガポールドル=93.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,122,256,831
コール・ローン等	103,715,537
公社債(評価額)	3,959,072,419
未収入金	55,723,883
未収利息	3,322,831
前払費用	422,161
(B) 負債	39,168,900
未払金	39,166,756
未払利息	226
その他未払費用	1,918
(C) 純資産総額(A-B)	4,083,087,931
元本	3,403,927,554
次期繰越損益金	679,160,377
(D) 受益権総口数	3,403,927,554口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,995円

[元本増減]

期首元本額	5,865,304,576円
期中追加設定元本額	415,976,098円
期中一部解約元本額	2,877,353,120円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募)	為替ヘッジあり	1,611,652,039円
シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募)	為替ヘッジなし	1,792,275,515円

○損益の状況 (2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,022,612
受取利息	19,085,921
支払利息	△ 63,309
(B) 有価証券売買損益	△ 147,886,048
売買益	901,935,305
売買損	△1,049,821,353
(C) 保管費用等	△ 1,533,285
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 130,396,721
(E) 前期繰越損益金	1,516,237,027
(F) 追加信託差損益金	121,132,017
(G) 解約差損益金	△ 827,811,946
(H) 計(D+E+F+G)	679,160,377
次期繰越損益金(H)	679,160,377

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。</li> <li>マザーファンド組入比率には制限を設けません。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。	

# シュローダー・グローバル CBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし

## 第3期 運用報告書（全体版）

（決算日 2022年5月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし」は、2022年5月10日に第3期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

#### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日は除く）

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産額
		税金	込配	み騰落 期中率		
(設定日)	円		円		%	百万円
2019年7月1日	10,000		—		—	518
1期(2020年5月11日)	9,937		0	△ 0.6	97.4	895
2期(2021年5月10日)	12,456		0	25.3	93.6	3,561
3期(2022年5月10日)	11,806		0	△ 5.2	97.3	2,143

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰落	率	
(期首)	円		%	%
2021年5月10日	12,456		—	93.6
5月末	12,680		1.8	99.2
6月末	13,064		4.9	99.0
7月末	12,757		2.4	99.2
8月末	12,840		3.1	99.5
9月末	12,784		2.6	100.1
10月末	13,221		6.1	100.1
11月末	12,848		3.1	97.9
12月末	12,734		2.2	99.8
2022年1月末	11,924		△4.3	98.3
2月末	11,834		△5.0	97.1
3月末	12,455		△0.0	97.8
4月末	12,274		△1.5	98.2
(期末)				
2022年5月10日	11,806		△5.2	97.3

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

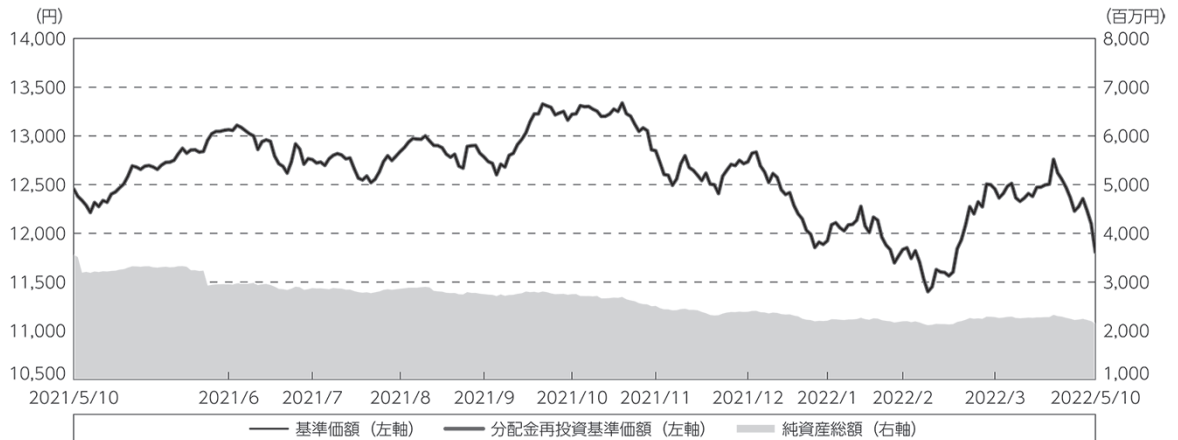
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債(転換社債)組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2021年5月11日～2022年5月10日)

期中の基準価額等の推移



期首：12,456円

期末：11,806円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,456円でスタートした基準価額は、11,806円(分配後)で期末を迎え、期首比5.2%(分配金再投資ベース)の下落となりました。

当期、CB市場は下落しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対し劣後する局面が見られました。一方で、株式市場の下落局面においては、CB市場は下値抵抗力を發揮しましたが、期を通しては軟調な推移となりました。

## 投資環境

新型コロナウイルスの順調なワクチン普及や、堅調な企業決算を背景に、堅調な推移をしてきた株式市場は、当期に入り、インフレ懸念や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に対する警戒感、中国不動産セクターに対する懸念を背景に価格変動が高い推移となりました。そして2022年2月下旬にはロシアによるウクライナ侵攻が開始され、先進各国によるロシアに対する経済制裁の発動を背景に株式市場は下落し、CB市場も軟調な推移となりました。その後、ロシア・ウクライナの和平交渉に関するニュースにポジティブな反応が見られたこと、また3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において0.25%の利上げを実施し、引き締めを積極的に進める見方を示したことで、金融政策への不透明感が和らぎ、株式市場は反発しましたが、インフレの継続懸念、金利の上昇、今後の利上げや金融引き締めを積極的に進めるとするFRBの姿勢、そして経済成長の鈍化、サプライチェーンの混乱に加え、中国における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う都市封鎖などの様々な要因により投資家の懸念が高まり、株式市場は軟調な推移となり、CB市場も下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2021年5月11日～ 2022年5月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,806

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

2022年3月半ばに開催されたFOMCにおいて利上げを発表し、FRBのパウエル議長は今後の金融政策の方向性について示し、積極的な金融政策に舵を切りました。現在、5月、6月のそれぞれ0.5%の利上げについては既に市場に織り込み済みとみています。4月は金利が上昇し、グローバル総合債券のインデックスは大きく下落しました。このことによるCBのデュレーションに対する直接的な影響はごく僅かでしたが、一方で、バランス型のCBにおいては、常に株価の動きに左右されるため、グロース銘柄の比率の高いCB市場は下落圧力を受けています。ハイテク株は大きく修正し、CB市場に対する重しとなっています。一方で、株式市場に対する逆風によって、CBの株式エクスポージャーが低下し、市場リスクも低下しました。ポートフォリオにおいては株式エクスポージャーを戦術的に引き上げるタイミングであると考えます。しかしながら、サプライチェーンの問題、都市封鎖やインフレ懸念、中央銀行のテーパリングと金融引き締めなど、市場調整のきっかけとなる要因は依然多数存在しています。このような中、すべての資産が無差別的に売られる局面が到来しても驚くことではありません。このような状況下では、資産の分散投資効果は無くなります。セーフティネットが組み込まれたCBは、下落時における衝撃を自ら緩和することが出来る資産クラスです。株式市場の後退が見られ、ボラティリティ(変動性)が高まる環境下においては、CBは下値抵抗力を大いに発揮します。その一方で、市場が好転した場合においては、その動きに追随するという特性をCBは有しています。CBにとって最も低調となった局面は過ぎたと考えており、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	67	0.533	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(64)	(0.506)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.001)	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.026)	・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	6	0.047	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 4 )	(0.029)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 2 )	(0.012)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 1 )	(0.005)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI: Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	73	0.580	
期中の平均基準価額は、12,617円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月11日～2022年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 248,657	千円 320,530	千口 1,292,740	千円 1,666,139

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2022年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年5月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 2,836,358	千口 1,792,275	千円 2,149,834

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 2,149,834	% 100.0
投資信託財産総額	2,149,834	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,579,906千円)の投資信託財産総額(4,083,094千円)に対する比率は87.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.03円、1ユーロ=137.27円、1英ポンド=160.37円、1スイスフラン=130.97円、1香港ドル=16.56円、1シンガポールドル=93.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,149,834,480
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	2,149,834,480
(B) 負債	6,348,114
未払信託報酬	6,123,405
その他未払費用	224,709
(C) 純資産総額(A-B)	2,143,486,366
元本	1,815,573,844
次期繰越損益金	327,912,522
(D) 受益権総口数	1,815,573,844口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,806円

[元本増減]	
期首元本額	2,859,453,274円
期中追加設定元本額	251,624,092円
期中一部解約元本額	1,295,503,522円

○損益の状況 (2021年5月11日～2022年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△109,131,021
売買益	39,760,388
売買損	△148,891,409
(B) 信託報酬等	△14,464,019
(C) 当期損益金(A+B)	△123,595,040
(D) 前期繰越損益金	185,833,462
(E) 追加信託差損益金	265,674,100
(配当等相当額)	(23,167,737)
(売買損益相当額)	(242,506,363)
(F) 計(C+D+E)	327,912,522
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	327,912,522
追加信託差損益金	265,674,100
(配当等相当額)	(23,260,212)
(売買損益相当額)	(242,413,888)
分配準備積立金	185,833,462
繰越損益金	△123,595,040

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(142,079,060円)および分配準備積立金(185,833,462円)より分配対象収益は327,912,522円(10,000口当たり1,806円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----



〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第3期〉

【計算期間 2021年5月11日から2022年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2019年7月1日	10,000		—	—	1,040
1期(2020年5月11日)	9,986	△	0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995	△	4.7	97.0	4,083

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2021年5月10日	12,585		—	93.4
5月末	12,815		1.8	99.2
6月末	13,209		5.0	98.9
7月末	12,905		2.5	99.0
8月末	12,995		3.3	99.3
9月末	12,944		2.9	99.8
10月末	13,391		6.4	99.8
11月末	13,020		3.5	97.9
12月末	12,910		2.6	99.7
2022年1月末	12,096	△	3.9	98.1
2月末	12,010	△	4.6	96.9
3月末	12,645		0.5	97.6
4月末	12,467	△	0.9	97.9
(期 末)				
2022年5月10日	11,995	△	4.7	97.0

(注) 基準価額は1万口当たり。

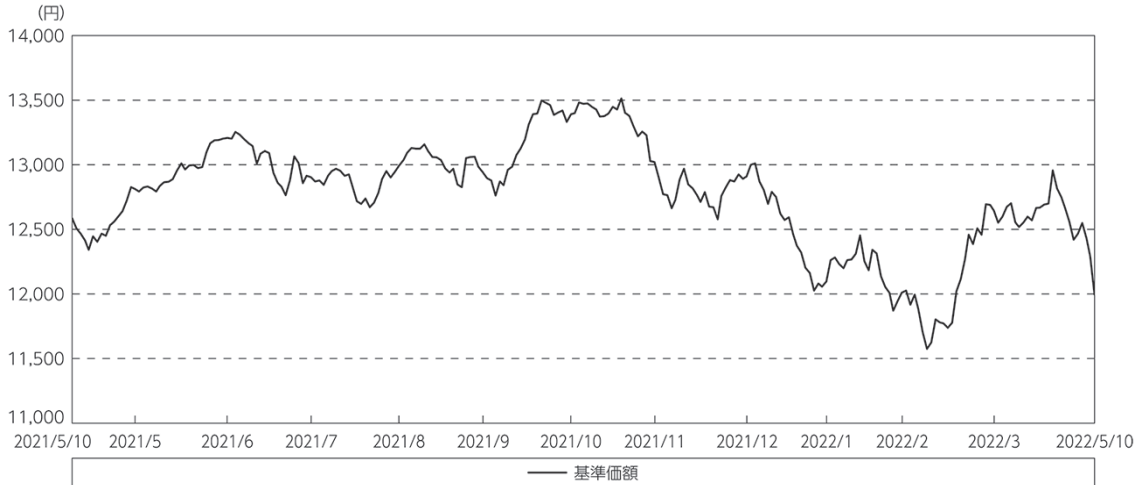
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2021年5月11日～2022年5月10日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,585円でスタートした基準価額は、11,995円で期末を迎え、期首比4.7%の下落となりました。

当期、CB市場は下落しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対し劣後する局面が見られました。一方で、株式市場の下落局面においては、CB市場は下値抵抗力を発揮しましたが、期を通しては軟調な推移となりました。

投資環境

新型コロナウイルスの順調なワクチン普及や、堅調な企業決算を背景に、堅調な推移をしてきた株式市場は、当期に入り、インフレ懸念や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に対する警戒感、中国不動産セクターに対する懸念を背景に価格変動が高い推移となりました。そして2022年2月下旬にはロシアによるウクライナ侵攻が開始され、先進各国によるロシアに対する経済制裁の発動を背景に株式市場は下落し、CB市場も軟調な推移となりました。その後、ロシア・ウクライナの和平交渉に関するニュースにポジティブな反応が見られたこと、また3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において0.25%の利上げを実施し、引き締めを積極的に進める見方を示したことで、金融政策への不透明感が和らぎ、株式市場は反発しましたが、インフレの継続懸念、金利の上昇、今後の利上げや金融引き締めを積極的に進めるとするFRBの姿勢、そして経済成長の鈍化、サプライチェーンの混乱に加え、中国における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う都市封鎖などの様々な要因により投資家の懸念が高まり、株式市場は軟調な推移となり、CB市場も下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○今後の運用方針

2022年3月半ばに開催されたFOMCにおいて利上げを発表し、FRBのパウエル議長は今後の金融政策の方向性について示し、積極的な金融政策に舵を切りました。現在、5月、6月のそれぞれ0.5%の利上げについては既に市場に織り込み済みとみています。4月は金利が上昇し、グローバル総合債券のインデックスは大きく下落しました。このことによるCBのデュレーションに対する直接的な影響はごく僅かでしたが、一方で、バランス型のCBにおいては、常に株価の動きに左右されるため、グロース銘柄の比率の高いCB市場は下落圧力を受けています。ハイテク株は大きく修正し、CB市場に対する重しとなっています。一方で、株式市場に対する逆風によって、CBの株式エクスポージャーが低下し、市場リスクも低下しました。ポートフォリオにおいては株式エクスポージャーを戦術的に引き上げるタイミングであると考えます。しかしながら、サプライチェーンの問題、都市封鎖やインフレ懸念、中央銀行のテーパリングと金融引き締めなど、市場調整のきっかけとなる要因は依然多数存在しています。このような中、すべての資産が無差別的に売られる局面が到来しても驚くことではありません。このような状況下では、資産の分散投資効果は無くなります。セーフティネットが組み込まれたCBは、下落時における衝撃を自ら緩和することが出来る資産クラスです。株式市場の後退が見られ、ボラティリティ(変動性)が高まる環境下においては、CBは下値抵抗力を大いに発揮します。その一方で、市場が好転した場合においては、その動きに追随するという特性をCBは有しています。CBにとって最も低調となった局面は過ぎたと考えており、この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.029	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.029)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	4	0.029	
期中の平均基準価額は、12,783円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月11日～2022年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 160,000	千円 165,475	千円 240,000 ( 20,000)	千円 256,199 ( 20,000)
外	アメリカ	千米ドル 12,096	千米ドル 12,881	千米ドル 26,165 ( 250)	千米ドル 26,580 ( 254)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	500	555	2,900	2,976
	イタリア	100	93	600	591
	フランス	590	647	1,786	1,964
	オランダ	100	124	600	585
	スペイン	400	458	900	839
	ベルギー	—	—	100	113
	ルクセンブルク	—	—	200	154
	その他	800	883	1,000	1,166
国	イギリス	千英ポンド —	千英ポンド —	千英ポンド 600	千英ポンド 513
	スイス	千スイスフラン —	千スイスフラン —	千スイスフラン 400	千スイスフラン 413
	オーストラリア	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 300 ( 300)	千オーストラリアドル 310 ( 300)
	香港	千香港ドル 2,000	千香港ドル 2,098	千香港ドル 8,000 ( 4,000)	千香港ドル 9,521 ( 4,000)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2022年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年5月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
ソニー130%コールオプション条項付第6回無担保転換社債型新		7,000	15,400
GMO PMT GTW INC 0% 26/06/22		10,000	10,255
MERCARI INC 0% 28/07/14		20,000	16,500
DMG MORI CO LTD 0% 24/07/16		20,000	20,331
BOSEI GROUP COR 0.25% 26/07/27		20,000	18,900
NIPRO CORPORATION 0% 26/09/25		20,000	20,370
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05		30,000	31,440
TRANS COSMOS INC 0% 26/12/14		20,000	21,033
KOEI TECMO HLDGS 0% 24/12/20		10,000	10,430
MEDIPAL HOLDINGS 0% 22/10/07		20,000	20,300
SCREEN HOLDINGS 0% 25/06/11		10,000	11,140
SBI HOLDINGS 0% 23/09/13		20,000	20,790
DIGITAL GARAGE 0% 23/09/14		20,000	20,530
SHIP HEALTHCARE HOLD 0%23/12/13		20,000	20,620
ROHM CO LTD 0% 24/12/05		30,000	31,125
SBI HOLDINGS 0% 25/07/25		40,000	45,760
RELO GROUP INC 0% 27/12/17		30,000	29,070
KYORITSU MAINTENANCE 0%26/01/29		10,000	11,605
MENICON CO LTD 0% 25/01/29		10,000	10,445
SENKO GROUP HOLDINGS 0%25/03/18		20,000	20,110
YAMAZEN CORPORATION 0% 26/4/30		20,000	20,965
合 計	額 面 金 額	407,000	427,119
	銘 柄 数 < 比 率 >	21	<10.5%>

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
BOOKING HOLDINGS 0.75%CB	16	21	2,746
SUNNOVA ENERGY 0.25% CB	150	109	14,204
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	258	183	23,840
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	199	25,990
DEXCOM INC 0.25% CB	464	457	59,500
LYFT INC 1.5% CB	175	159	20,741
GLOBALWAFERS CO 0% CB	200	181	23,619
ETSY INC 0.25% CB	160	121	15,738
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	200	234	30,466
SILICON LABORA 0.625% CB	70	88	11,548
COUPA SOFT 0.375% CB	554	419	54,482
SPLUNK INC 1.125% CB	389	325	42,336
ZENDESK INC 0.625% CB	215	239	31,199
OKTA INC 0.375% CB	234	185	24,128
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	229	29,812
BENTLEY SYS 0.375% CB	164	132	17,241
FIVE9 INC 0.5% CB	200	194	25,316
PACIRA PHARMA 0.75% CB	10	10	1,372
CLOUDFLARE INC 0% CB	417	325	42,261
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB	70	54	7,096
ETSY INC CONV 0.125% CB	200	166	21,610
BEAUTY HEALTH 1.25% CB	162	127	16,525
SEA LTD 0.25% CB	276	202	26,377
NICE LTD 0% CB	229	222	28,969
STRIDE INC 1.125% CB	94	92	12,005
NUTANIX INC 0.25% CB	100	74	9,700
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB	117	73	9,571
FIVERR INTER 0% CB	200	153	19,894
AMYRIS INC 1.5% CB	100	63	8,315
NOVOCURE LTD 0% CB	162	138	18,063
DIGITALOCEAN 0% CB	140	100	13,125
NCL CORP 1.125% CB	100	78	10,259
GUARDANT HEALTH 0% CB	380	250	32,581
OPENDOOR TECH 0.25% CB	50	33	4,341
CONFLUENT INC 0% CB	31	21	2,730
TECHTARGET INC 0% CB	66	52	6,874
LUCID GROUP 1.25% CB	250	163	21,220



シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
LCI INDUSTRI 1.125% CB	48	42	5,516
BILL.COM HOLDINGS 0% CB	130	130	16,998
BLOCK INC 0.125% CB	350	367	47,761
BOX INC 0% CB	160	203	26,401
WAYFAIR INC 1% CB	70	53	6,963
BILIBILI INC 1.25% CB	96	90	11,765
NEXTERA ENERGY 0% CB	200	195	25,477
SNAP INC 0.125% CB	292	236	30,735
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	182	23,678
EXPEDIA GROUP INC 0% CB	250	258	33,612
ENPHASE ENERGY 0% CB	105	94	12,223
ENPHASE ENERGY 0% CB	153	137	17,895
ITRON INC 0% CB	200	165	21,545
AIRBNB INC 0% CB	632	532	69,209
CERIDIAN HCM 0.25% CB	286	232	30,193
CABLE ONE INC 0% CB	200	157	20,492
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	54	46	6,073
NEXTERA ENERGY 0% CB	50	46	6,075
HALOZYME THERAP 0.25% CB	156	129	16,814
DROPBOX INC 0% CB	100	87	11,348
DROPBOX INC 0% CB	328	284	37,051
FORD MOTOR 0% CB	575	578	75,253
TYLER TECH 0.25% CB	200	193	25,099
BLACKLINE INC 0% CB	407	319	41,547
RAPID7 INC 0.25% CB	133	120	15,651
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	101	13,259
SOLAREEDGE TECH 0% CB	150	164	21,425
IONIS PHARMACEU 0% CB	250	221	28,814
LI AUTO INC 0.25% CB	150	145	18,899
VERINT SYSTEMS 0.25% CB	80	80	10,475
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	150	147	19,124
BIOMARIN PHAR 0.599% CB	100	98	12,827
EXACT SCIENCES 1% CB	100	103	13,425
VIAVI SOLUTIONS 1% CB	50	59	7,728
JAZZ INVEST 1.5% CB	200	198	25,762
EXACT SCIENCES 0.375% CB	225	181	23,595
PURE STORAGE 0.125% CB	225	254	33,074
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	337	43,826
WIX.COM LTD 0% CB	125	120	15,624

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
LG DISPLAY CO LTD 1.5%CB	200	205	26,663
ILLUMINA INC 0% CB	200	195	25,407
SPLUNK INC 1.125% CB	100	95	12,369
SPLUNK INC 0.5% CB	330	326	42,434
J2 GLOBAL 1.75% CB	75	75	9,849
BHARTI AIRTEL 1.5% CB	200	259	33,781
EXACT SCIENCES 0.375% CB	200	151	19,725
EURONET WORLD 0.75% CB	18	19	2,539
COUPA SOFT 0.125% CB	150	126	16,471
ZHEN DING TECH HLD 0% CB	200	195	25,411
ZYNGA INC 0.25% CB	200	220	28,647
STMICROELECTRO 0% CB	200	221	28,795
STMICROELECTRO 0% CB	200	218	28,393
ENVESTNET INC 0.75% CB	72	66	8,665
ADM AG HOLDING 0% CB	200	209	27,178
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	50	50	6,550
LIBERTY BROAD 2.75% CB	118	112	14,653
ESR CAYMAN 1.5% CB	200	196	25,610
SHOPIFY INC 0.125% CB	311	262	34,166
OKTA INC CB 0.125%	350	301	39,164
ETSY INC CONV 0.125% CB	52	64	8,377
INSULET CORP 0.375% CB	100	106	13,809
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	100	112	14,610
LIBERTY BROAD 1.25% CB	309	288	37,517
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	150	150	19,564
XERO INVESTMENTS 0% CB	200	167	21,766
XIAOMI BEST 0% CB	200	168	21,848
QIAGEN NV 0% CB	600	559	72,808
LUMENTUM HOLD 0.5% CB	100	108	14,116
IONIS PHARMACE 0.125% CB	100	88	11,488
ASAHI REFINING 0% CB	100	98	12,779
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB	241	215	27,984
NUVASIVE INC 0.375% CB	96	88	11,531
VINGROUP JSC 3% CB	200	180	23,405
小 計	額 面 金 額	20,717	18,896
	銘 柄 数 < 比 率 >	110	—
			<60.2%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DEUTSCHE POST 0.05% CB	300	302	41,583
RAG-STIFTUNG 0% CB	300	311	42,795

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
LEG IMMOBILIEN SE 0.4%CB	100	88	12,096
ZALANDO SE 0.625% CB	200	164	22,627
ZALANDO SE 0.05% CB	200	177	24,304
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	200	179	24,635
DEUTSCHE LUFT 2% CB	100	103	14,203
小 計	額 面 金 額 1,400	1,327	182,246
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	<4.5%>
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DIASORIN SPA 0% CB	200	178	24,472
NEXI SPA CONV 1.75% CB	100	92	12,652
PIRELLI & C SPA 0% CB	100	100	13,796
PRYSMIAN SPA 0% CB	300	300	41,198
NEXI SPA CONV 0% CB	200	153	21,132
小 計	額 面 金 額 900	825	113,252
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	<2.8%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SAFRAN SA 0% CB	165	146	20,126
ATOS SE 0% CB	300	276	37,989
VEOLIA ENVIRONNE 0% CB	152	161	22,232
SAFRAN SA REGS0.875% CB	151	171	23,510
SELENA CONV REGS 0% CB	200	203	27,893
ELECTRICITE DE FR 0% CB	546	610	83,837
SOITEC 0% CB	69	82	11,339
SCHNEIDER ELECTRIC0% CB	172	184	25,264
ACCOR SA CONV 0.7% CB	189	191	26,272
FNAC DARTY 0.25% CB	85	81	11,255
小 計	額 面 金 額 2,032	2,110	289,721
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	<7.1%>
(ユーロ・・・オランダ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA INTER 0% CB	100	129	17,718
SHOP APOTHEKE EUR 0% CB	100	82	11,299
AMERICA MOVIL 0% CB	400	444	61,066
小 計	額 面 金 額 600	656	90,085
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	<2.2%>
(ユーロ・・・スペイン)	千ユーロ	千ユーロ	千円
INTL CON AIR 1.125% CB	100	79	10,894
CELLNEX TELECOM 0.5% CB	400	467	64,112
小 計	額 面 金 額 500	546	75,007
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<1.8%>

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ベルギー)		千ユーロ	千ユーロ	千円
UMICORE SA CONV 0% CB		100	100	13,746
小 計	額 面 ・ 金 額	100	100	13,746
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.3%>
(ユーロ・・・ルクセンブルク)		千ユーロ	千ユーロ	千円
OLIVER CAPITAL 0% CB		100	104	14,385
小 計	額 面 ・ 金 額	100	104	14,385
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.4%>
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
GN STORE NORD 0% CB		100	94	12,955
POSCO 0% CB		500	489	67,196
GEELY SWEDEN FIN 0% CB		200	224	30,795
ZHEJIANG EXPRESS 0% CB		100	103	14,262
ANLLIAN CAPITAL 0% CB		200	215	29,593
小 計	額 面 ・ 金 額	1,100	1,127	154,803
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<3.8%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	6,732	6,798	933,247
	銘 柄 数 < 比 率 >	34	—	<22.9%>
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	千円
IWG GROUP HOLD 0.5% CB		100	83	13,434
小 計	額 面 ・ 金 額	100	83	13,434
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.3%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	千円
KINGSOFT CORP 0.625% CB		2,000	2,060	34,113
Citi/Longfor Group 0%CB		2,000	2,092	34,644
CATHAY PACIFIC 2.75% CB		2,000	2,073	34,336
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	6,225	103,095
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<2.5%>
(シンガポール)		千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円
SINGAPORE AIR 1.625% CB		250	267	25,024
小 計	額 面 ・ 金 額	250	267	25,024
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.6%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	3,531,952
	銘 柄 数 < 比 率 >	149	—	<86.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	3,959,072	97.0
コール・ローン等、その他	124,022	3.0
投資信託財産総額	4,083,094	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,579,906千円)の投資信託財産総額(4,083,094千円)に対する比率は87.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.03円、1ユーロ=137.27円、1英ポンド=160.37円、1スイスフラン=130.97円、1香港ドル=16.56円、1シンガポールドル=93.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,122,256,831
コール・ローン等	103,715,537
公社債(評価額)	3,959,072,419
未収入金	55,723,883
未収利息	3,322,831
前払費用	422,161
(B) 負債	39,168,900
未払金	39,166,756
未払利息	226
その他未払費用	1,918
(C) 純資産総額(A-B)	4,083,087,931
元本	3,403,927,554
次期繰越損益金	679,160,377
(D) 受益権総口数	3,403,927,554口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,995円

[元本増減]

期首元本額	5,865,304,576円
期中追加設定元本額	415,976,098円
期中一部解約元本額	2,877,353,120円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募)	為替ヘッジあり	1,611,652,039円
シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募)	為替ヘッジなし	1,792,275,515円

○損益の状況 (2021年5月11日~2022年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,022,612
受取利息	19,085,921
支払利息	△ 63,309
(B) 有価証券売買損益	△ 147,886,048
売買益	901,935,305
売買損	△1,049,821,353
(C) 保管費用等	△ 1,533,285
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 130,396,721
(E) 前期繰越損益金	1,516,237,027
(F) 追加信託差損益金	121,132,017
(G) 解約差損益金	△ 827,811,946
(H) 計(D+E+F+G)	679,160,377
次期繰越損益金(H)	679,160,377

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 21 期

(計算期間：2021年10月16日～2022年4月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



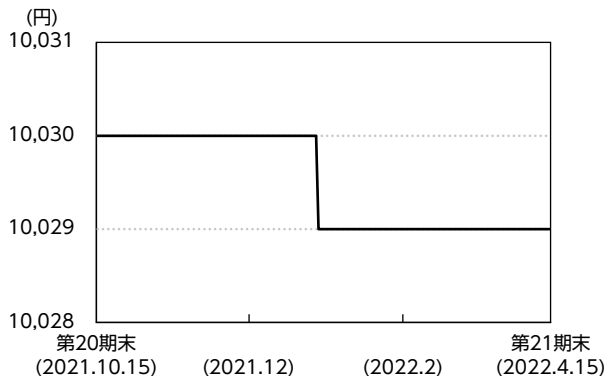
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2021年10月16日～2022年4月15日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
17期(2020年4月15日)	10,031	0.0	61.6	50
18期(2020年10月15日)	10,030	△0.0	61.6	50
19期(2021年4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期(2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期(2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2021年10月15日	10,030	—	69.5
10月末	10,030	0.0	69.5
11月末	10,030	0.0	69.6
12月末	10,030	0.0	69.5
2022年1月末	10,029	△0.0	69.6
2月末	10,029	△0.0	69.6
3月末	10,029	△0.0	69.5
(期末)2022年4月15日	10,029	△0.0	69.5

(注) 騰落率は期首比です。



1万口当たりの費用明細

2021年10月16日～2022年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,029円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2021年10月16日～2022年4月15日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 20,143	千円 － (20,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2021年10月16日～2022年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第115回 共同発行市場公募地方債	10,074	－	－
第193回 神奈川県公募公債	10,069		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2022年4月15日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	35,000 (35,000)	35,113 (35,113)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)
合計	35,000 (35,000)	35,113 (35,113)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第710回 東京都公募公債	0.8100	2022/6/20	15,000	15,021
	第193回 神奈川県公募公債	0.7390	2022/12/20	10,000	10,050
	第115回 共同発行市場公募地方債	0.8000	2022/10/25	10,000	10,041
	合計	—	—	—	35,113

## 投資信託財産の構成

2022年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	35,113	69.5
コール・ローン等、その他	15,415	30.5
投資信託財産総額	50,528	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月15日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>50,528,956円</b>
コ－ル・ローン等	15,364,920
公社債(評価額)	35,113,594
未収利息	45,583
前払費用	4,859
<b>(B)負債</b>	<b>19</b>
未払解約金	3
その他未払費用	16
<b>(C)純資産総額(A－B)</b>	<b>50,528,937</b>
元本	50,381,974
次期繰越損益	146,963
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>50,381,974口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,029円</b>

(注1) 期首元本額 50,382,156円  
 期中追加設定元本額 ー円  
 期中一部解約元本額 182円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,953,044円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジあり)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Cコース(為替ヘッジあり)	9,984円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2021年10月16日～2022年4月15日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>145,200円</b>
受取利息	149,089
支払利息	△ 3,889
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>△148,474</b>
売却損	△148,474
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 131</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 3,405</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>150,368</b>
<b>(F)合計(D+E)</b>	<b>146,963</b>
<b>次期繰越損益金(F)</b>	<b>146,963</b>

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。